

ふくしまの子どもの尿分析（2回目）結果

サンプル No	性別 / 年齢	第 1 回目分析 (5. 20～22) Bq/L		第 2 回目分析 (7. 22～26) Bq/L		減少率 (%)		行動状況など
		Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	
U-1	男 / 9	1.04 ± 0.26	1.22 ± 0.28	0.44 ± 0.18	0.70 ± 0.20	57.7	42.6	3/14 水汲み 30 分、15～18 屋内。4/5～学校始まり週 3 回サッカー練習 2. 5h、徒歩で通学。マスクせず。
								7 月末から京都へ避難。一回目の尿検査を受けて、心配だった私は結果がでる前の 6 月初旬に、二週間の一時避難をしました。その後福島に戻り夏休みまで過ごしました。食材については実母が徹底して西の物を調達したり、水もペットボトルを購入していました。乳製品も控え、学校へは送迎し、外遊びも禁じました。外出時はマスクは欠かしませんでした。その甲斐あってか、二回目の数値は下がったものの正直安心へは繋がりませんでした。尿検査をしていただけたことは、本当に感謝しております。事実を知ることが怖いと思っていましたが、事実を受け止め、次にすべき親としての行動を考えることができました。まだ 1 歳の娘も恐らく検査すれば同じか、母乳なのでそれ以上に出るかもしれないと怯えながら、今の私にできることが安全な場所への避難だと考えることに繋がったのは紛れありません。
U-2	男 / 16	0.76 ± 0.21	0.78 ± 0.22	0.74 ± 0.25	0.87 ± 0.27	2.7	-11.5	3/14 中学校校庭で数時間。15 は屋内、16 合格発表を見た後屋内。部活は文化部だが外の線量の高い側溝のすぐそばで練習している。
								キュウリ、トマトなど好んで食べる。スーパーで購入。県外産手に入りにくい。「やっぱり…」が正直な気持ちです。数値を聞いて、すぐ「避難した子どもは下がったんだろうな」と想像出来ました。案の定です。通学中の学校の側溝の数値が高圧洗浄した後でも 8～9 マイクロシーベルトは異常です。その近くに我が息子の文化部の部屋。これからも放射能を浴び続ける子ども達を考えると胸が痛みます。
U-3	男 / 6	0.76 ± 0.27	0.62 ± 0.23	< 0.42	< 0.5	(44.7 以上)	(19.4 以上)	3/13, 14, 15, 16 は福島市内で屋内（木造）
								5 月末から北海道へ避難。北海道のおいしい空気、水、食物が身体の浄化につながり数値が下がったんだと確信しています。食事は外食する場所が遠い住まいでしたのでほとんど自炊しました。農家の方の届けてくれたミネラルたっぷりの野菜達が主でした。健康補助的に EMX ゴールドを 1 日一回あたたかいお味噌汁に入れて飲ませていました。2 回目検査まで 20 日ちょっとの飲用でしたが(今も継続中)それでも少しは排出促進につながったのだと思います。

サンプル No	性別 / 年齢	第 1 回目分析 (5. 20～22) Bq/L		第 2 回目分析 (7. 22～26) Bq/L		減少率 (%)		行動状況など
		Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	
U-4	女 / 8	0.41 ± 0.20	0.43 ± 0.19	< 0.30	< 0.33	(26. 8 以上)	(23. 3 以上)	3/13 川俣町へ、14, 15, 16 は福島市内で屋内（木造） 5 月末から北海道へ避難
U-5	女 / 9	0.91 ± 0.23	0.93 ± 0.23	0.43 ± 0.19	0.46 ± 0.17	52. 7	50. 5	3/14 水汲み 1h、15 自転車で買い物 2h、16～閉め切り屋内で。マスク着用。 6 月中旬から米沢へ避難。山形県産の食品を購入に努めた。レトルトカレーも使用したが、幼児向け某カレーがいわきの工場製品と知って以来レトルトやカップラーメンは控え目にしています。子供たちは7月に一度のみで福島市には行っていません。外遊びやプールも制限していませんでした。
U-6	男 / 6	0.80 ± 0.27	0.88 ± 0.27	< 0.27	0.40 ± 0.17	(66. 3 以上)	54. 5	3/14 川へ水汲み 10 回。17 外遊び 1h。 3/23 に山形県米沢市へ避難、6/18 から佐渡へ疎開しました。米沢でも、佐渡のアパートに移ってからも、とにかく朝に生のフルーツ、お腹が空いたときのおやつもきゅうりや生のフルーツ。野菜等は福島、埼玉、千葉、茨城産は食べさせない。海藻、味噌、発酵食品をほぼ毎食取り入れた。佐渡では、生協の宅配で産地は新潟が四国、北海道のみを選択。佐渡のきれいな空気の中で、海や公園での外遊びで代謝を活発化。なにより、子供と親のストレスが無くなりました。
U-7	男 / 7	1.00 ± 0.27	1.30 ± 0.30	0.39 ± 0.18	0.40 ± 0.19	61	69	3/13～16 日はほぼ毎日水汲み、買い物をするため外にいました。マスク、帽子無しです。一日に2～3回くらいは外に出たと思います。一日のうちでは半日くらいになるでしょうか。初めのうちは外遊びもあったと思います。それは一時間くらいかなと思います。 尿検査ありがとうございました。数値が低くなっていたので少し安心しました。2 回目の検査の時に北海道に避難してきました。これからも引き続き体内から放射性物質を排出するために頑張ろうと思います。5 月末の検査での数値に驚き自分なりに調べ、6 月中旬から体内から放射性物質を排出させるために色々対策をしてきました。外活動は一切しない。少し外に出るだけでも必ずマスク、長袖着用。水道水は自宅では使用しない。排出するためにいいと言われる物を摂る。これを徹底してやってきました。今でも対策は続けています。できれば、避難してからの検査もしていただきたいです。

サンプ ル No	性別 / 年齢	第 1 回目分析 (5. 20～22) Bq/L		第 2 回目分析 (7. 22～26) Bq/L		減少率 (%)		行動状況など
		Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	
U-8	女 / 8	1.13 ± 0.34	1.19 ± 0.35	0.56 ± 0.24	0.46 ± 0.22	50.4	61.3	3/13、14 外遊び数時間、15 外で 2 時間（マスク）、16 屋内、17 ガソリンスタンドで並ぶ車窓全開、18 外で 2h。
								7 月 1 日に米沢市に避難。それまで食生活は海外のものや冷凍食品を選んで食べていました。子どもたちは毎日マスク。避難前から時々県外へ遊びに行くようにしてました。
U-9	女 / 8	0.70 ± 0.20	0.90 ± 0.22	0.54 ± 0.19	0.57 ± 0.18	22.9	36.7	3/11 震災後飯坂へ。部屋の移動時に外へ出る。時々外へ。
								6 月中旬から米沢市へ避難。避難していても水は買ったものを飲ませています。おかずは野菜中心で北海道か九州か山形のもので。酵素を多くとる為によく洗って生でたべます。漬物も自家製を毎日食べさせています。牛乳は山形県のを給食で飲んでます。それ以外は飲みません。事故以前は食べていたチーズやヨーグルトも購入しません。
U-10	男 / 13	1.06 ± 0.29	1.22 ± 0.30	0.60 ± 0.19	0.73 ± 0.20	43.4	40.2	3/13～16 の間 1 日おきに水汲み 1h、4/20～部活で毎日 3h 外で練習、土曜も練習 3h。自転車通学 30 分、マスクせず。3/20～27 までは仙台市に避難。
								7 月下旬に沖縄へ避難。少しですが、セシウム減少しホッとしました。野菜は北海道から取り寄せた。調理、飲用水は全てミネラルウォーターを使用。部活から帰ってきたら、すぐ靴下をぬいで、土を室内に入れないよう気をつけた。帰宅してできるかぎり早くシャワーを浴びさせた。セシウムを排出させると言われる玄米やこうじみそ、市販の「アップルペクチン」を摂取。カリウムを含む野菜果物を毎日食べた。
U-11	男 / 17			1.82 ± 0.31	1.65 ± 0.30			震災後水汲み 13 日 2 時間、14 日 4 時間、15 日 2 時間、16 日は買い物 2 時間、水汲み 2 時間程度。
								部活は運動部、平日はグラウンドで 3-4 時間練習。休日は学校グラウンドで 4 時間練習。生野菜キュウリ、キャベツ、レタスなど、温野菜ジャガイモ、人参、玉ねぎを好んでたべる。市内スーパーで購入県内産特に気にせず、牛乳、チーズ好む、豚鶏肉好き。

サンプル No	性別 / 年齢	第 1 回目分析 (5. 20～22) Bq/L		第 2 回目分析 (7. 22～26) Bq/L		減少率 (%)		行動状況など
		Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	
U-12	男 / 18			0.34 ± 0.18	0.37 ± 0.18			12 日に水汲み 2 時間程度。13 日以降は祖父の家に避難。 電車と自転車で通学 50 分程度。部活は運動部、平日はグラウンドで 3－4 時間練習。休日はほぼ他県へ練習試合に。水は水道水を飲み、食材も特に他県産の物を選んで買っているわけではない。食生活の傾向、好き嫌いは「野菜はけっこう食べる（生で）。果物も食べている。（福島県産）」。「事故後「2～3 ヶ月はマスクを付けていた。」。野球部の活動中、グラウンド整備などで土をいじる時はゴム製の手袋をはめていた。
U-13	男 / 18			0.37 ± 0.18	0.45 ± 0.19			13 日はまだ断水中でしたので危険だとは知らず、給水に 1 時間くらい、近所の地下水を汲みに何度か外出しました。約 2 時間くらい、家を往復してお風呂いっぱいになるくらいの水汲みを手伝わせました。14 日～16 日も水汲みや買い物にならんだりして、一日平均 3～4 時間は外出。買い物も食料が制限あり、少しずつしか購入できないため、家族分（当時 8 人）を調達するのに何箇所かお店をまわったり、並んだり子供たちにも手伝わせていました。 食べものについては、春野菜、夏野菜は福島県産のものは避けて、近県のものもよく水洗いをしっかりするよう心掛けてました。極力、たくさん海藻類を食べさせたりするよう、気をつけてました。
U-14	女 / 11			0.30 ± 0.17	< 0.34			3 月 12 日は午前中 2 時間は水汲みに並び 13 日はガソリンスタンドで並び野外に 3 時間、14 日は午後、井戸ほりをし、5 時間野外活動、その後はあまり外へは出ずに過ごした 4 月から小学校へ行く、道は歩かせず車で登下校。5 月 15 日から米沢市へ引っ越しています。福島市の野菜、食物は避けています。

サンプル No	性別 / 年齢	第 1 回目分析 (5. 20～22) Bq/L		第 2 回目分析 (7. 22～26) Bq/L		減少率 (%)		行動状況など
		Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	
U-15	男 / 11			0.37 ± 0.17	< 0.33			我が家は、13、14日は、自宅におりました。しかし、子供達は、1歩も外に出ませんでした。最初から、政府や、テレビの情報を疑っておりました。なぜかはわかりません、ただの、感でした。3/15日の正午に避難を決意し、会津へ10日間避難しました。 学校が始まる事と、自主避難のため、資金がかかるという事で、自宅に戻りました。極力、子供の外出は控えさせました。う。通学の、車での送迎です。 ただ、息子のソフトボールだけは、容認してきました。なぜなら、子供から、すべてを失いたくなかったからです。脱会も考えました。休むことも考えましたが、息子が、今まで頑張ってきて、去年やっと手に入れたポジションです。かわいそうで、取り上げられませんでした。その分、私が、そのほかで頑張るしかないと思いました。積算を、なるべく少なくすること。内部被ばくを抑える事に努力しています。出来るだけ、何もない休日は、放射線の少ない地域に出かける。学校の牛乳は、最初から止めさせていただきました。野菜は、福島県はもちろん、近県の物も食べさせませんでした。岡山県、熊本などから、取り寄せています。必要最低限の外出のみにしています。

参考 東京周辺の子どもの尿分析結果

Sample No	Reference date	Place	Type	Sex / Age	Bq/L	
					Cs-134	Cs-137
110719-OCJ-01	07.13-15.2011	東京	尿	男 / 9	< 0.3	< 0.3
110719-OCJ-02	07.19-20.2011	川崎	尿	男 / 6	< 0.6	< 0.6
110719-OCJ-03	07.14-19.2011	千葉	尿	女 / 4	< 0.2	< 0.2